



安行小だより

安行小学校 1月号
令和5年1月10

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校

あけましておめでとうございます

校長 春川 嘉孝

令和5年が皆様にとりまして、よき年となりますようお祈り申し上げます。新年の空気は、それだけでもすがすがしく感じ、いつもの景色が、不思議と違って見えるものです。

また、いよいよ本年12月2日（土）は、安行小学校開校150周年記念式典が執り行われます。

本年も、学校教育活動へのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年も行われた「箱根駅伝。」往路、復路、総合優勝と、順位やシード権がテレビでは放映されますが、そこには、参加する学生様々なドラマがあるように感じます。ある大学では、同期入学の二人が初めて、襷リレーを行うことになったこと、双子の兄弟として、同大学で練習に励み、兄弟で走ることを胸に抱き、最後の駅伝選手発表で叶わなかった兄弟のドラマなど「目に見えるもの」の裏にはたくさんの人どうしのかかわりがあることに気づきます。「ブラボー」という言葉で活躍・飛躍をあらわした日本サッカー。ここでも、選手が大会を振り返り、食事を担当した「西さん」やスタッフの話話を語っています。成功の中核には、それぞれの役割、思いをもって共にたたかう人の存在があり、それが大きな力を発揮させるのだと感じます。新年は、よりよき自分を思い描きたいと思うのが人情です。それに向かって努力すること、続けていくことが人を成長させていくのだと思います。



先日、あるデパートに行きました。入口が分からなかったもので、思わず訊ねてしまいました。その方は、商品の看板を持ち、お客さんにお声をかけていましたが、その動きを一度とめ、心よく教えてくれました。自分のスマホを取りながら、地図を見せて丁寧に。（私が行きたいデパートは、そのお店の競合店だったのに）人との対話、人は愛するに足り、すべてが、人の成すこと。皆さんにとって「人の温かさをかんじるときはどんな時だろう？」

国連事務総長のアントニオ・グテーレス氏は、2023年を「平和を言動の中核に据えましょう。」と呼びかけました。「平和に暮らす」誰でもが不公平なく持ち得ているものです。それを「人の手によって、対話を通して」という意味が込められていると感じます。

「伝統と地域と共に励みて進むわが希望」

150周年のスローガンです。皆様のお力で、素晴らしい一年になりますように。